

みたらい溪谷 & 観音峰



(ハイライトシーン)

※弥生班 計7名

[※ 実施日--2025年9月23日(火)]

① (吊り橋)



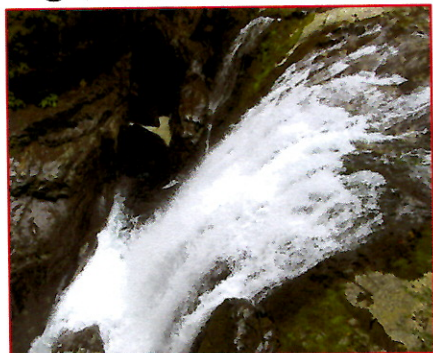
② (みたらい溪谷の遊歩道)



③ (エメラルドグリーンの溪谷)



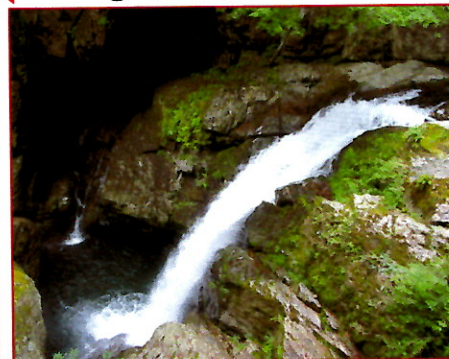
⑥ (みたらいの滝)



⑤ (光の滝の上で)



④ (光の滝)



⑦ (みたらいの滝をバックに)



⑧ (観音の水を飲む)



⑨ (観音峰展望台)



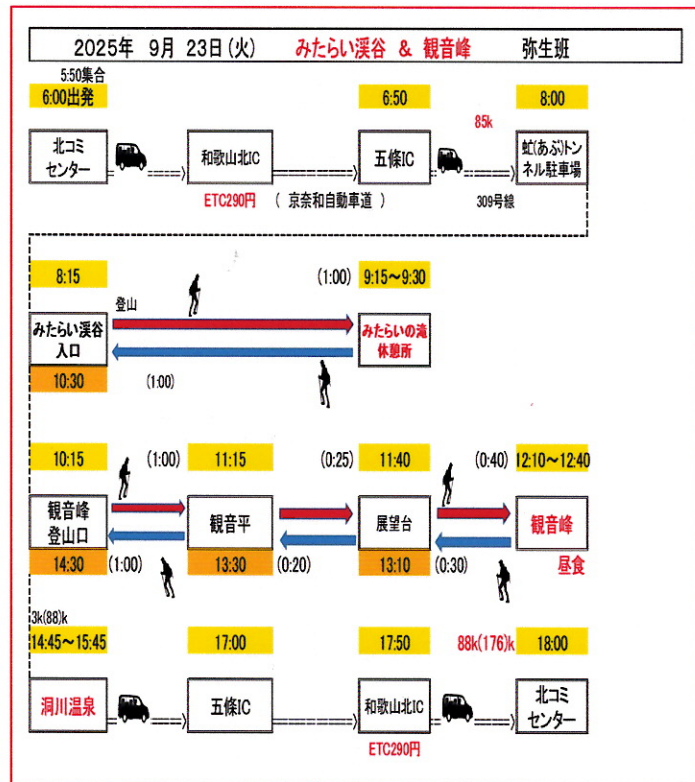
⑩ (観音峰の山頂)



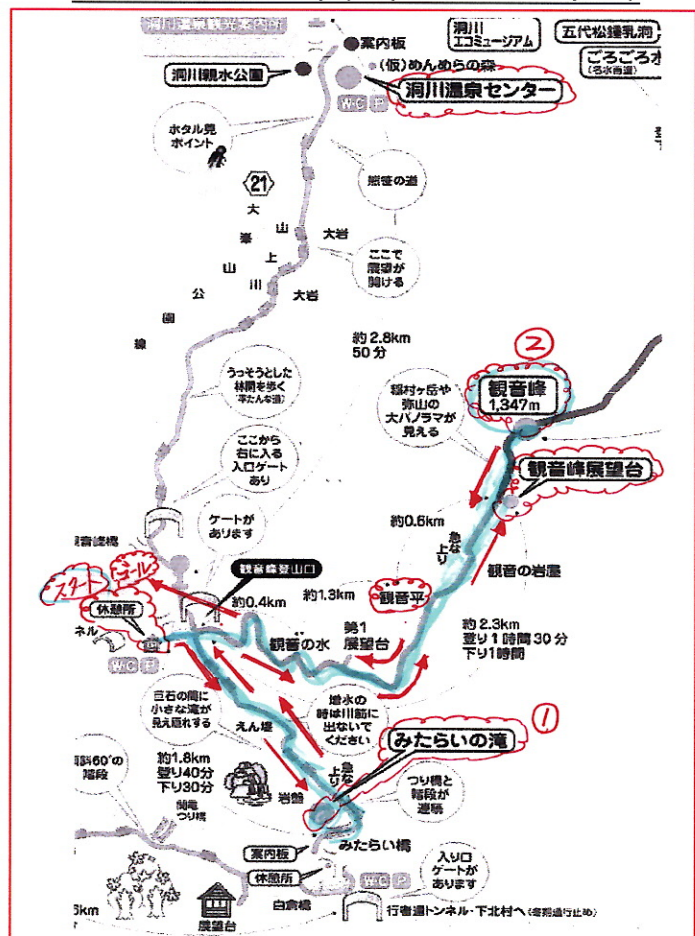
みたらい溪谷 & 観音峰

※(山行日) ---- 2025 年 9 月 23 日

※(行 程) [予定]



(みたらい溪谷と観音峰のロードマップ)



紀峰山の会 (弥生班)

(計 7 名) 木村、岡本、山本、八木、河原、大塚、有本、

※[はじめに]

(みたらい溪谷)

○巨石と大小の滝と豊富な種類の木々がつくる大自然の景観で見どころがいっぱいのみたらい溪谷は、遊歩道が整備され、吊り橋の上からは滝を見下ろすことが出来る。

(觀音峰)

○観音峰展望台[1285m]（観音峰山頂は 1347m）
へのハイキングコースは、登山道も整備され、
登山口から山岳パノラマを楽しめ、展望台から
は、正面に稲村ヶ岳や大日山、南に大峯奥
駈道から弥山・八経ヶ岳、と展望を満喫する
ことができます。

(写真 1)

(虻トンネル駐車場)



- ・北コミを6時出発。京奈和道を經由して、
現地駐車場に8時到着。まずは準備体操！！

(写真 2)

(登山届)



・みたらい溪谷入口で登山届を提出。

(写真 3)

(吊り橋)



- ・吊り橋を渡り、右側へはみたらい溪谷、左側へは観音峰へ行く。先ずは右側へ！

(写真 4)

(遊歩道)



- ・整備された川沿いの遊歩道に行く。

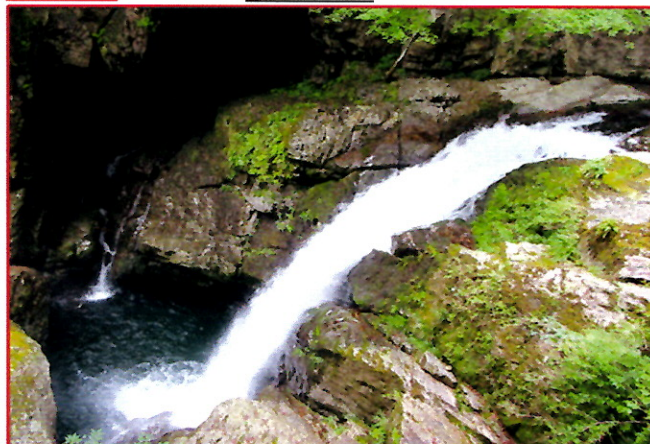
(写真 5)

(エメラルドグリーンの溪谷)



(写真 6)

(光の滝)



- ・水量が多く、マイナスイオンを感じる空間。

(写真 7)

(みたらいの滝)



- ・更に水量が多く高さがある「みたらいの滝」

(写真 8)

(吊り橋)



- ・みたらいの滝正面の釣り橋。

(写真 9)

(滝をバックに)



(写真 10)

(光の滝の横で)



- ・復路で光の滝の上で一休み。

(写真 13)

(展望台)



- ・見晴らしがよく、稲村ヶ岳や大日山、南に大峯奥駈道から弥山・八経ヶ岳が見えた。

(写真 11)

(観音の水)



- ・登山口に戻り、途中の湧き水「観音の水」で小休憩。

(写真 14)

(観音峰の山頂)



- ・13 時山頂へ到着。ここからの展望はなし。
15 時 30 分に下山し、帰路は洞川温泉で入浴。

(写真 12)

(ススキの群生)



- ・展望台付近は、背丈より高いススキの群生に行く手を阻まれた。

※(最後に)

- みたらい溪谷は水量が多くエメラルドグリーンに輝く水面を横手に進むと巨石の間から大小の滝が見え隠れし、最初の大きな滝は「光の滝」、その先は「みたらいの滝」と大小の様々な滝があり、もみじや巨石とあいまってマイナスイオンを感じ癒されました。
- 観音峰では、途中の展望台付近で季節柄ススキの群生があり、背丈より高いススキで進行を妨げられた。展望台からは見晴らしがよかったが、観音峰山頂は木々が茂り展望は今一つの景観であった。
- 心地よい風とマイナスイオンで秋を感じる山行となり、帰路では洞川温泉で入浴し、満足な旅でした。